

■2020 年度 A 日程早期卒業者特別入試・一般入試

「小論文」出題趣旨・解説

【出題趣旨】

殆どの受験生にとって馴染みが薄いと思われる「社会的選択理論」に関する文章を正確に読解して長文の作成を求めるものである。「多数決」による意思決定の問題点を指摘する筆者の主張を正確に理解し、それを踏まえた上で、法制度を支える基本原理の一つである「多数決原理」に対して、どのような認識をもって法科大学院での学修に臨むのかを問うている。

文章の内容を正確に理解した上で、「多数決」の問題性と優位性について、自分自身の考えを、明確に、根拠をもって、論理的・説得的に述べることが求められ、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章で書くことができるかどうかを評価している。

【解説】

1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法（斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し）、及び、②記入方法（記入欄・横書き）が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書くなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2 問いについて

「多数決」の問題性と優位性についての自分自身の考えが、論理的に記述されているか、問題文の単なる要約となっていないか、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章となっているか等を基準として採点している。

以 上